

科目名 Course Title	大学院共通授業科目(一般科目):複合領域		
講義題目 Subtitle	グローバル実践科目 II		
責任教員 Instructor	ホイットフィールド デールリー [WHITFIELD Dale Lee] (教育イノベーション機構)		
担当教員 Other Instructors	楊 梓桐 [YANG Zitong] (教育イノベーション機構)		
科目種別 Course Type	大学院共通授業科目	他学部履修等の可否 Open To Other Faculties / Schools	可
開講年度 Year	2026	期間 Semester	1学期(夏ターム)
授業形態 Type of Class	演習	単位数 Number of Credits	2
対象学科・クラス Eligible Department / Class	-	対象年次 Year of Eligible Students	-
時間割番号 Course Number	101231(火曜クラス) 101296(木曜クラス)	補足事項 Other Information	-
ナンバリングコード Numbering Code	IGS_IDS 9211		
大分類コード・名称 Major Category Code / Title	IGS_IDS・大学院共通授業科目(複合領域)		
レベルコード・レベル Level Code / Level	9・その他(海外への留学を内容とするものなど, レベル分けが出来ない科目)		
中分類コード・名称 Middle Category Code / Title	2・キャリアマネジメント		
小分類コード・名称 Small Category Code / Title	1・キャリア開発		
言語 Language Type	英語で行う授業		
実務経験のある教員等による授業科目 Course list by the instructor with practical experiences	-		
<b>キーワード Key Words</b>			
「3+1の力」(能力更新力、組織形成力、社会還元力および専門職倫理)、アジャイルプロジェクトマネジメント、リビングシステムズマネジメント、リジェネラティブ・リーダーシップ、ストラテジック・ドゥーイング、フューチャーズ・リテラシー、分散型ガバナンス、ダブルループ学習			
<b>授業の目標 Course Objectives</b>			
急速に変化する現代において、従来型の直線的な計画手法では、複雑なシステムの課題に対処するには不十分な場合が多くあります。本科目では、「リビングシステムズマネジメント」の実践に主体的に取り組み、実社会からのフィードバックに応じて進化する適応型のプロジェクトを主導できるよう準備します。「リジェネラティブ・リーダーシップ」に根ざした実践的なカリキュラムを通じ、不確実性をレジリエンス(回復力)と先見性を持って乗り越える方法を学ぶことで、「能力更新力」を強化します。また、「分散型ガバナンス構造」を構築することで、チームが俊敏に行動できるようにし、強固な「組織形成力」を身につけます。最終的に、学生は「パスファインダー・プロジェクト」を通じて、誠実さ・責任・社会的公正を重視する「専門職倫理」に基づき、「社会還元力」を発揮し、その能力を示します。			
<b>到達目標 Course Goals</b>			
本科目の履修を通じて、学生は新渡戸カレッジ「3+1の力」の枠組みに基づいた自身の成長を示す具体的な「成果」を作成し、専門家としての能力開発を積極的に推進します。具体的には、以下の実践を通じてこれらを達成します。			
1) 「リジェネラティブ・リーダーシップ」と「フューチャーズ・リテラシー」を活用し、チームを共有の長期的ビジョンに沿って方向づけるとともに、「ストラテジック・ドゥーイング」を用いて潜在的資産(アセット)を動員し、即効性のある高い成果を生み出します。			
2) アジャイル型プロジェクトマネジメントを用いて適応型のプロジェクトを実行し、「ダブルループ学習」を取り入れてフィードバックを批判的に分析し戦略を調整することで、より大きな効果を達成します。			
3) 「リビングシステムズマネジメント」を習得し、「分散型ガバナンス」プロトコルを導入することで、従来の階層構造に依存せず、チームが迅速かつ合意に基づいた意思決定を行えるようにします。			

## 授業計画 Course Schedule

「グローバル実践科目 I」で培った共創スキルを基盤として、本科目は全8回のモジュールで構成されています。各モジュールでは、「リジェネラティブ・リーダーシップ」を「リビングシステムズ・マネジメント」の実践的枠組みに組み込み、学生は固定チームで活動し、戦略的ビジョンの策定から体系的な「パスファインダー・プロジェクト」のアジャイル型実行へと進むプロセスを体系的に学びます。「グローバル実践科目 II」は、火曜日および木曜日の5・6限(16:30 - 19:45)に開講されます。学生は火曜日か木曜日のいずれかを選択し、毎週その選択した曜日の授業のみに出席してください。

### 第1週 ラピッド・コ・クリエーション・ラボ (6月9・11日)

現実の場面では、限られた資源の中でも迅速な行動が効果的なリーダーシップに不可欠です。本セッションでは学生が協働し、時間的制約の下で体系的課題に取り組み、高精度のプロトタイプを作成します。成果はステークホルダーとの公開レビューで検証されます。なお、本セッションは「グローバル実践科目 I」の第8回目も兼ねています。

### 第2週 未来に向けたチーム形成 (6月16・18日)

持続可能なプロジェクトには、目先の課題だけでなく長期的ビジョンを共有するチームが必要です。学生は「リジェネラティブ・リーダーシップ」の原則を用いて未来シナリオに基づく固定チームを編成し、効果的な協働を促すガバナンスルールを策定します。

### 第3週 潜在的資源の活用 (6月23・25日)

リーダーが、不足している資源に注目しすぎると、プロジェクトは停滞しがちです。学生は「ストラテジック・ドゥーイング」を活用し、チームの隠れた資源を特定して活用することで、外部承認を待たずにアジャイル型プロジェクトを迅速に立ち上げる方法を学びます。

### 第4週 アイデアを行動へ (6月30・7月2日)

先見的なアイデアも、具体的な実行構造がなければ実現しません。学生はアジャイル型の計画と実行を習得し、複雑な目標を管理可能なワークフローに分解し、柔軟なロードマップを作成して着実な進捗を確保する方法を学びます。

### 第5週 上司なしで意思決定 (7月7・9日)

効果的なプロジェクトマネジメントには、従来型の管理者がいなくても明確かつ迅速な意思決定が必要です。「ソシオクラシー」を実践し、合意に基づく意思決定プロトコルを習得することで、全員の声を尊重しつつ効率的にガバナンス上の課題に効率的に対応できるようになります。

### 第6週 フィードバックから学ぶ (7月14・16日)

プロジェクトの持続的な成長は、単なる誤りの修正と、それを生んだ戦略の批判的検討を区別する力が必要です。「ダブルループ学習」を実践し、フィードバックを徹底的に分析して戦略を修正し、長期的な成功につながる方向転換を行う方法を学びます。

### 第7週 意図せぬ結果の管理 (7月21・23日)

責任あるリーダーシップには、問題が起きてから対応するのではなく、事前に潜在的なリスクを予測する力が求められます。学生は「プレモーテム」を実施し、起こり得る失敗を想定して倫理的なセーフガードを設け、プロジェクトとコミュニティを守る方法を学びます。

### 第8週 デモと未来への道 (7月28・30日)

持続可能なリーダーシップとは、プロジェクトの価値を現在のチームを超えて継続させることです。学生は「パスファインダー・プレゼンテーション」を行い、引き継ぎ文書を準備することで、プロジェクトの成果を次の世代に残し、将来の受講生に向けた基盤を築きます。

## 準備学習(予習・復習)等の内容と分量 Homework

学習の質を確保するため、学生は各授業の前後において、授業への能動的な参加に向けた資料の確認や、コンピテンシーの向上を正確に記録するための毎週の「リフレクティブ・エビデンス・ログ」(「成績評価の基準と方法」参照)の推敲など、予習・復習に取り組むことが求められます。本科目の主要な課題は授業時間内に完了するように設計されていますが、学生はこれらの活動のために授業外の時間を充てることが推奨されます。なお、欠席者や、コンピテンシーレベルの向上を目指して評価課題の修正・再提出を希望する学生は、これらの課題に自主的に取り組む必要があります。

## 成績評価の基準と方法 Grading System

本科目では、コンピテンシー評価モデルを採用しており、学生は毎週提出する「リフレクティブ・エビデンスログ」を通じて、特定の専門的スキルを実際に示す能力で評価されます。学習負担を適切に管理できるよう、評価は授業時間内に実施できるよう設計されており、学生が作成・提出するための時間を確保しています。

エビデンスログは、新渡戸カレッジ「3+1 の力」の 27 の観点に基づくプロフェッショナル・ポートフォリオの基盤となり、グローバルリーダーを目指す全人的な学びの一部となります。各観点は 0 から 4 までの 5 段階のコンピテンシースケールで評価されます。これは成長を促す学習過程であるため、学生はフィードバックに基づいてログを修正・再提出し、履修を通じてコンピテンシーレベルを高めていくことが推奨されます。

## テキスト・教科書 Textbooks

必要に応じて指示する。

Supplementary materials are instructed or provided when necessary.

## 講義指定図書 Reading List

必要に応じて指示する。

Supplementary materials are instructed or provided when necessary.

## 参照ホームページ Websites

<https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/>, <https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/en/>

## 研究室のホームページ Websites of Laboratory

特記事項なし

## 備考 Additional Information

履修登録システムでの登録に加え、本科目を履修予定の学生は、以下の申請フォームを提出すること(締切:4月8日(水)9:00): <https://forms.gle/6f1X6g7YyK6dNkcw8>

申請者には、4月9日(木)に、初回授業の詳細およびポートフォリオシステムの利用手順についてメールで連絡する。

プレプログラムガイダンス

日本語:4月3日(金)17:00 - 18:00

英語:4月6日(月)17:00 - 18:00

場所:北海道大学フロンティア応用科学研究棟2階セミナー室

履修登録に関する情報や関連資料は、以下の web サイトを参照すること:

[https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/en/preprogram\\_enrollment](https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/en/preprogram_enrollment)

修士課程・専門職学位課程の学生:

本科目は、新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラムに進むためのプレプログラム科目の一部として開講します。プレプログラム科目 2 科目の履修・修得が、オナーズプログラム大学院カリキュラムへの入校要件の一つとなります(新渡戸カレッジへの入校申込みは任意)。

博士(後期)課程の学生:

本科目を履修可能です。ただし、オナーズプログラムに進むことはできません。履修希望者多数の場合、修士・専門職学位課程の学生を優先して調整を行うことがありますので、あらかじめご了承ください。

本科目に関する問い合わせ先: [nitobecollegegraduates@high.hokudai.ac.jp](mailto:nitobecollegegraduates@high.hokudai.ac.jp)